

盲腸線が多い

盲腸線については、鉄チャン仲間でも好き者がいて、盲腸線だけを探訪するファンまで存在しています。

盲腸線はそれだけでドラマがあるようなので、その都度紹介していますが、阪急電鉄は、営業路線が、約150kmと大手私鉄ですが、支線と呼ぶにはそれほど長くない路線長の盲腸線が多くある会社です。

伊丹線(別途まとめた) 3,1km

その昔、神戸上筒井線というのがありました。 0,8km

王子公園駅から分岐し、上筒井通りを上筒井まで約800mの路線でしたが、早くに廃線となり、しばらくは約100mほど残され、新造車両の搬入線として活躍していましたが、それも撤去されました。

甲陽園線 2,2km



西宮五園(甲子園、苦楽園、甲風園、甲東園)の一つで高級住宅地と称される甲陽園、早くから阪神バス(当時は阪国バス)が西宮～満池谷までを結んで営業していた、これに刺激され阪急は1924(T13)に急遽、甲陽園線を開業させたもので単線路線で駅舎も小さなものである、今でも駅前正面には阪神バスの停留所が堂々とあります。

箕面線 4,0km

有馬箕面電気鉄道が阪急の前身であることは有名な話であります。従って、箕面線も宝塚本線と同時に開業し、複線路線で最高時速も80kmに設定されており、開業当初は、梅田～箕面～宝塚という三角運転(石橋駅は当初三角駅)がされている

ほどの看板路線であって、盲腸線ではなかったが、乗客確保のために宝塚少女歌劇を売出したことから梅田～宝塚が重視され、箕面方面は切り離され盲腸線となった悲劇の路線である。



嵐山線 本来、本線であった。詳細は、別項目として取り挙げる。

今津南線

次号にします。